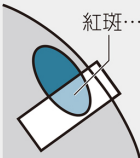


# Urticaria

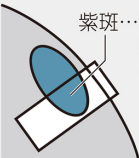
## 原発疹

【斑】：表面が平坦な病変

紅斑…毛細血管拡張によるもので硝子圧で退色する。





紫斑…硝子圧で退色しない。紅斑との違いは色調によらない。




---

【丘疹】：径0.5～1cm位までの大きさの病変。

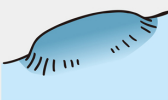


---

【結節】：径0.5～1cm以上の隆起性病変。




【膨疹】：ほぼじんま疹と同義。真皮上層の局限性浮腫。




---

【水疱】：角層～表皮内に液体が貯留したもの。




【膿疱】：内容が膿性のもの。



---

【嚢腫】：真皮内の壁をもった病変。



# Urticaria 3

症状

膨疹を主徴とし、癢疹を伴い、通常は24時間以内に消退する。

組織所見

真皮上層の限局性浮腫。症状の長引くものでは単核球・好酸球などの炎症性細胞浸潤。

# Angioedema 1

## 血管性浮腫 (Quincke浮腫)

病因	治療
遺伝性 <ul style="list-style-type: none"><li>C1 (esterase) inh 欠損</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>アンドロゲン製剤 (C1inhibitor産生増強)</li><li>トランサミン (C1inhibitor消費抑制)</li><li>C1 inh</li></ul>

非遺伝性

- 特発性
- I allergy

- ヒスタミン・ブロッカー

## Quiz

5 Qs / 5

96H62 血管性浮腫 Qs ⓘ

**M M**

血管性浮腫について正しいのはどれか。 3つ選べ。

- a. 強いかゆみを伴う。
- b. 皮膚に膨疹を起こす。
- c. 腹痛や下痢を起こす。
- d. 喉頭浮腫を起こす。
- e. フロセマイドが有効である。

True: b c d

- a. 血管性浮腫: 蕁麻疹ほど痒くない
- b.
- c. 腸管浮腫 ⇒ 腹痛, N/V
- d.
- e.

### 血管性浮腫 (Quincke浮腫)

	病因	治療
遺伝性	<ul style="list-style-type: none"><li>• C1 (esterase) inh欠損</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• アンドロゲン製剤 (C1inhibitor産生増強)</li><li>• トランサミン (C1inhibitor消費抑制)</li><li>• C1 inh</li></ul>
非遺伝性	<ul style="list-style-type: none"><li>• 特発性</li><li>• I allergy</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• ヒスタミン・ブロッカー ()</li></ul>